

みんなで支える公共交通



●公共交通の現状

自動車の普及や少子高齢化など、公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。市でも、この10年間でバス利用者は約半分まで減っています(次ページグラフ参照)。

利用者の減少は、採算性の悪い路線を廃止へと追い込み、バス路線廃止で更に利用者数が減少するという悪循環になっています。

しかし、鉄道やバスなどの公共交通は、市民の皆さんの通勤・通学・通院・買い物などに欠かせない存在です。また、現在は自家用車を利用している人も、将来は公共交通に頼るかもしれません。今こそ、公共交通の維持に向けた取り組みが必要です。

●市の取り組み

そこで市は、23年度にさくら野百貨店北上店周辺のバス停を集約し、市内を運行する全てのバスがまちなかターミナルで乗り降り出来るようにし、まちなかターミナルでの乗り換えの利便性を高めました。

また、さくら野百貨店の店内に待合スペースやバスの接近を知らせる「あしあとランプ」の設置などを行い、安心してバスを待つことができます。



あしあとランプ

よう整備しました。

個別路線の取り組みについては、平日の横川目線運行ダイヤ午前8時～午後6時台を増便することで、30分間隔運行とし、利用しやすい路線となるよう改めました。この結果、横川目線の利用者は、24年度から増加傾向にあります。

●コミュニティバス

路線バスが廃止となった地域の移動手段を確保するため、13年度から運行を開始し、現在は飯豊立花黒岩線(毎週月、木曜日)と二子更木線(毎週火、金曜日)の2路線を運行しています。

コミュニティバスは、自家用車を所有していない人などが地域で暮らし続けていくために、欠かすことのできない移動手段です。限られた予算の中で運行を維持し続けていくため、積極的なコミュニティバスのご利用をお願いします。

●近隣市町村との利用促進

近隣市町村をつなぐ路線についても利用者数の減少が大きな課題となっています。中でも利用者数の減少が著しい岩黒線(北上駅～江刺バスセンター)、北上線(中部病院～北上駅～湯本バスターミナル)について、それぞれ奥州市、西和賀町と協力し、利用促進に取り組んでいます。

岩黒線については、昨年度沿線団体(地域、病院、学校など)に対し、岩黒線の利用状況や意見などヒアリング・意見交換会を行いました。この際に出た意見などをもとに、本年度利用促進に取り組む予定です。

また、北上線の利用促進の一つとして、27年8月から、北上線の北上駅～中部病院間の運行経路が変更されます。今回の運行経路変更により、江釣子ショッピングセンター・パール付近、日高見中央クリニックなどへも行くことが出来るようになります(変更ルートは次ページ参照)。

ライフスタイルに合わせ、皆さんが積極的に公共交通を利用することが、今後の公共交通の維持につながります。今回の路線変更をきっかけに、バスで出掛けてみませんか。

